



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

THE Y'S MEN'S CLUB OF NARA

C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimi-cho, Nara Japan Tel. 0742-44-2207

CHARTERED SEPT. 14TH. 1950

ホームページ: <http://uchidakaikei.com/narawaizu/index.htm>

国際会長主題: 「輝かそう、あなたの光を」

'Let Your Light Shine'

アジア会長主題: 新しい時代とともにエレガントに変化を

Elegantly Change With New Era

西日本区理事主題: 原点を知り将来に生かす

Know the origin and utilize it in the future!

阪和部長主題: 10年後の阪和部へ。つなげる。～経験を生かし、目線を活かす～

会長: 四本 英夫

副会長: 中井 信一

副会長: 水田 典男

書記: 熊巳 由佳

会計: 平井 洋三

副会計: 水田 典男

直前会長: 山口 ルミ

ネット代表: 内田 彩子

2月
2023年

ブリテン
編集委員

高田 嘉昭

熊巳 由佳

中井 信一

林 佑幸

平井 洋三

クラブ会長標語: 「未来を考え、今日から行動」今できることをやり遂げましょう
Thinking about the future, taking action today. Let's do what we can do now

2月例会

日時 2023年2月11日(土) 18:00~20:00

場所 あきしの保育園ホール

<プログラム> 司会 林 佑幸メン

1. 奈良クラブの歌 [今、心は少年少女]

2. 開会点鐘 会長 会長

3. ワイズソング

4. 聖書・祈祷

5. ゲスト・ビジター紹介

6. 入会式

7. 卓話

講師: 奥田 暢子様

テーマ: 「TUNAGARU (つながる・つなぐ)」

8. 誕生日のお祝い

9. Y M C A ニュース

10. インフォメーション

11. Y M C A の歌

12. 閉会点鐘 会長



会長

月間強調テーマ

TOF

今月の聖句

また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。

(マルコによる福音書4章8節)



奈良基督教会牧師 古本靖久

イエス様はよく、たとえを用いて人々に語られました。ある日、こんな話をされました。「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。ある種は道端に落ち、ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、ほかの種は茨の中に落ちた。それらの種は実を結ばなかった。しかし良い土地に落ちた種は、芽生え育って実を結んだ」。種とは、神さまのみ言葉のことを指します。

この話を聞いた人たちは、自分の心の状態のことを考えたでしょう。かたくなになっていないか、み言葉をちゃんと噛みしめているだろうか、他の思いが邪魔してはいないだろうか。そして自分の心が「良い土地」になるようにと、頑張ろうとするのです。

しかしイエス様がそれ以上に伝えたかったのは、「それでも種を蒔き続ける人」のことなのです。種まきのとき、普通は道端や石だらけのところ、茨の中になど蒔きません。無駄になるからです。しかし神さまは、そんな場所にいる人たちのところにも、み言葉の種を蒔き続けられます。そして実を結ぶようにと、わたしたちの心を耕してくださるのです。

2023年1月度クラブ統計

在籍会員	17名	メネット	3名
出席会員	12名	コメット	0名
(除、広義会員)		ゲスト	4名
メキップ	Z・2名	ビジター	0名
出席率(12+Z・2)/16名	87.5%		

ニコニコ献金

1月度: 0円

累計: 565,862円



例会 2月11日(土) 18:00~20:00 あきしの保育園

役員会 2月27日(月) 19:00~21:00 奈良YMCA

出席第一・親睦・協力奉仕



会長通信

会長 四本 英夫

★トライアスロンに魅せられて★

平井 洋三

皆さま、こんにちは、四本英夫（よつもと ひでお）です。

今回は、SDGsの9番目の目標「産業と技術革新の基礎」について考えてみます。産業といっても幅が広いですが、今回のテーマはデータを活用した日本酒造りです。酒造りというと、高齢の杜氏がその豊かな経験と研ぎ澄まされた勘によって寒い冬場に造るというイメージではないでしょうか？

まず、2023年1月12日付け日本経済新聞（朝刊）に掲載された記事の一部から、酒造会社の現状をみたいと思います。白鶴酒造（神戸市）では、年間に約1500本のタンクに仕込みますが、一度の仕込みで甘辛の度合いを示す日本酒度やアルコール度数など100のデータを収集します。この10年間に収集した150万ものデータを活用し、日本酒の品質を向上させているのだそうです。統計的手法を用いてデータ解析し、醸造中の分析値を入力すると日本酒度やアルコール度数の変化を予測するソフトの開発まで行っているとのこと。

一方、黄桜（京都市）では、大阪ガスのセンシング技術を使ったセンサーを一部の酒蔵の製麹工程に設置しました。これにより、麹菌が増殖する際放出する二酸化炭素（CO2）濃度をリアルタイムで把握しています。黄桜では、二酸化炭素濃度と麹の品質を左右する「グルコアミラーゼ」の量に相関関係があることを発見したそうです。

このように大手の高い技術力が普通酒から吟醸酒までの多様な酒の品質維持につながり、兵庫・灘五郷や京都・伏見のブランド価値を高めています。

これらの「技術革新：データ活用による酒造り」に先鞭をつけたのは、獺祭で有名な山口県岩国市の旭酒造です。先般、この旭酒造の桜井会長のお話を直接伺う機会に恵まれましたので、ご紹介したいと思います。

旭酒造は、杜氏制度を廃止した酒蔵で、いろいろなシステムやデータを利用して酒造りが行われています。2000年頃から当時価格が下がってきた重量計や温度計の活用から始めたそうです。その後製造工程のデジタル化を進め、獺祭を日本でも有数の純米大吟醸として育ててきました。また、この流れで杜氏がいない酒蔵をアメリカ・ニューヨークにも建設中（2023年春醸造開始予定）です。

各社のITやデジタル化にそれぞれ特徴がありますが、当社には大きな特徴が2つあります。ひとつは、製造スタッフが日本一多いことです。即ち、デジタル化の進展に伴い省力化ではなく、細部まで見える化できるようになったことからむしろ人手をかけるようになりました。もう一つは、最終の製品にブレがあることを容認している点です。獺祭はある程度樽毎に少しずつ違いますが、当社では、それはそれでいいのだと認めています。米も違うし気候も違うし造る度に毎回条件が異なるので、同じものを造ろうとしないわけです。そうすると、各製造工程で常に最高のものを目指していくことになるのだそうです。

日本において伝統的な酒造りはアナログの代表のような事業ですが、今日ではITやデジタル技術が利活用されています。この原稿を書いている1月中旬は、二十四節気という「寒の内」（小寒から節分までの30日間）にあたり、寒さが最も厳しくなるころです。今夜は熱燗でも呑みますか。

4年前の春・4月、孫娘が大学入学式の暫くあと、学校帰りに私宅に立ち寄り、「トライアスロン部に入ったよ!!」と嬉しそうに言う。父親が外地勤務のため、代わりに事後了解方々“孫には弱いジジ・ババ狙い”の何か魂胆ありと見たが、結果は案の定。競走用自転車プレゼントの約束を易々と手にし、嬉々として帰って行った。これまで、トライアスロン競技は過酷なスポーツという印象しかなく、又ロードレースでの危険があり、躊躇もあったが、それなりの強い意志も感じたので、応援することにした。そうなると、トライアスロンがどんな競技か、共通の話題として楽しめるように少し調べてみた。

〔歴史〕この競技は歴史の浅いスポーツで、1974年アメリカで誕生し、2000年シドニー・オリンピックで正式種目となって、世界的広がりを見せた。日本では1981年鳥取県での開催が始まりで、2016年の岩手国体から正式競技となり、インカレでも、「日本学生トライアスロン選手権大会（個人戦・団体戦）」として、正式競技になって間がない。

〔距離〕この競技は、水泳・自転車・長距離走の3種目をこの順番で1人の選手が連続して行うが、距離によっていくつかの種類に分かれている。

イ) ロング・ディスタンス(スイム・3.8km. バイク・180.2km. ラン・42.2km) 合計226.2km(ハワイのアイアンマン選手権が最高峰)

ロ) オリンピック・ディスタンス(スイム・1.5km. バイク・40km. ラン・10km) 合計51.5km

ハ) スプリント・ディスタンス(ロ)の各1/2) 合計25.75km
その他、大会によりいろんな距離設定があるが、オリンピックや国体、インカレは、通常オリンピック・ディスタンスで行われ、その合計タイムを競う。

〔競技の魅力〕
スイムでは、海・湖・池・時には大阪城の東外濠を泳ぎ、自然の中をバイクとランで疾走するスポーツだが、近年では、都心の観光名所に囲まれた中で行う大会も多くなり、単にアスリートだけのスポーツでなく、健康的な体作りを目的として、老若男女、巾広い年齢層がチャレンジする、運動と観光を同時に楽しむ“スポーツ・ツーリズム”として注目を集めている。

〔彼女いわく〕
3種目それぞれ異なった筋肉を使うので、オリンピック・ディスタンスでのダメージは、ハーフマラソンと同じ位らしい。「高校の部活動で中距離走の経験があれば、初心者でも数か月みっちりトレーニングすれば、エントリー出来る」と部監督に背中を押され、入部半年後の茨城国体出場をスタートに、インカレや地方での大会など、10数回を完走することが出来その都度、ゴールインした時の達成感と満足感に喜び、次への意欲につながっている。

〔継続は宝〕
冬場も温水プールを利用し、ほぼ毎日順番に練習を続けており、今後2年間も学生としてのレース出場が可能なので、二刀流でスネカジリをするという。ならば、社会人になっても家庭に入っても同好の友と集い、健康の許す限りスポーツ・ツーリズムとして楽しみ、継続してほしい。こちらは今暫くは折々YouTubeでの実況を見ながら応援に興じた。

★存亡の危機★

林 佑幸



YMCAだより2月

担当主事 村上 一志

ショッキングなテーマですが、奈良クラブの「クラブ運営方針」（2023/1～2023/6）の巻頭に出てくる言葉です。これは、『奈良クラブメンバーにクラブの現状を認識してもらい問題点と課題等をメンバーが共有し解決・改革に向かって一致して進んで行こう』という思いがこもった言葉だと小生は解釈しております。さて、今期四本会長は就任前からクラブ活性化についての問題点、課題そして解決方法等を「SWOT」方式を用いて詳細に分析し「クラブ運営方針（案）について」を纏め、7月キックオフ例会の場で就任挨拶の直後に発表し出席会員の賛意を得て方針に沿った作業を進めていくこととなりました。

具体活動として①人（EMC、人的ネットワークの構築他）、②金（財務基盤の強化）の2点に力点を置くとの観点から二つのプロジェクトチーム【・EMC事業PT ・財務基盤強化PT】が立ち上げられ、会長からの諮問に対する検討作業が行われました。

・EMC事業PT〔主たる項目：メンバー増強3か年計画の立案ほか〕

・財務基盤強化PT〔主たる項目：メンバー増強3か年計画との連携の上、クラブ会費の金額の検討ほか〕

両チームは限られた時間の中で数度の討議を重ね答申書が提出され、会長は答申に基づき「クラブ運営方針（案）について」を作成、11月23日（水・祝）に開催された第2例会の場で会長から説明・提案があり会員の賛成多数で承認され晴れて（案）が取れ2023年1月1日から施行される運びとなりました。

その主たる内容ですが、EMCはメンバー数を3年後に30名への増強を目指し、財政面ではクラブ会費は据え置きとし、これまで会費から支出の例会食事代は受益者実費負担、献金はBF献金を除き自己申告制とすることで財政基盤の強化につなげる方向です。

さて、奈良クラブは今期17名でスタートいたしました。私は過去の例をHPから収録したブリテンを遡って検索いたしましたところ、メンバー数は2005年度が17名でした。この年はクラブ創設55周年記念例会を10月8日に挙行し、10月29、30日に「EMC一泊研修」を生駒ふれあいセンターで開催（14名参加）、「会員増強について討論された」とブリテン（2005. 11）は報じています。会員増強について一致結束の結果2010年度にはメンバー数は24名となり60周年記念例会を迎えております。

メンバーの皆様、2月例会では3名の新しい仲間をお迎えします。新たなパワーを得て、気持ちを前向きに持ってメンバー一致で会員増強と財務基盤強化に向かって進み3年後の75周年を笑顔で迎えようではありませんか。

皆さま、寒さが一段と肌に染みるようになってきました。が、お体は大丈夫でしょうか？

YMCAからは、年末年始に実施いたしましたウィンタープログラムをケガ等なく無事に終えることができました。2022年に奈良YMCAは、記念すべき60周年を迎える事ができました。これも、ワイズメンズクラブの皆様をはじめいろいろな方の支えのおかげだと感謝しております。

この60年の歩みを大切に守りながら、これからも皆様にとって必要なYMCAであり続けたいと願っています。今後も、ご支援よろしくお願い致します

★リーダー研修会★

村上 一志

昨年開催された全国リーダー研修会は、3回に分けて行われ、奈良YMCAからは、3人の学生リーダーが参加をさせていただきました。また、今回の全国リーダー研修会では第一、二回は熊本のア蘇キャンプ場にて対面で実施され、第三回は、各地からオンライン参加で実施がされました。

第一回では、YMCAの成り立ちからユースリーダーとはどのような存在なのかを教わりました。その中で「YMCAは子供や若者の失敗の権利を保障する場所」という意見が出て、非常に共感しました。これについては、普段の活動に置き換えてもYMCAのユースリーダーとして子供と接する活動をするうえでも大切な感覚であると感じました。第一回では、学生それぞれがYMCAを理解し、どのように関わっていけるのかを共有できる貴重な経験となりました。

第二回では、外部講師として社会学者の宮台真司さんにも加わっていただきました。一回目からは、大きく話も飛躍し今の社会、人が抱える問題点について考え、そのうえでYMCAがどのような役割を持つのかについて、その場にいた全員が一体となり深く考えることができました。3日間でYMCAについて、ユースの視点で考え各地のユースリーダーと意見交換ができた有意義な時間になりました。オンラインでの開催となった第三回では、第二回までの内容を各YMCAに持ち帰り、「私たちが、YMCAを通して、かなえないこと」というテーマで発表する形で行われました。これまでの内容を受け、「人とのつながりを深めたい」、「感情を豊かにできる体験を提供したい」など様々なタイプの意見が飛び交い、ユースリーダー全体にとっても全3回の研修会のまとめとして受けることができました。最後に今回の研修会に対面で参加したリーダーの感想です。

・全国のリーダーと討論をしたことで自分の視野が広がったように思います。沢山の刺激をもらってYMCAで自分は何をやりたいのか明確になり、失敗を恐れずどんどんいろんなことに挑戦していきたいと思いました。

・細かい活動内容は違えど全国各地で様々な思いをもって子供たちと接しているリーダーがいて、そんなリーダーたちと関わった良い機会でした。子供たちのために、見返りを求めずただ尽くす、そんなリーダーが沢山居て、とても暖かい気持ちになりました。

・研修会に参加したことで、たくさんの刺激をもらいました。また、普段行っている活動のあり方についても改めて再認識するきっかけとなり、参加できて本当に良かったと感じています。

★卓話プロフィール★

講師：奥田 暢子（オクダ・ノブコ）様

テーマ：「TUNAGARU（つながる・つなぐ）」

兵庫県在住

（株）をくだ屋技研/本社・堺市 取締役

（有）オクダ/本社・堺市、支店・柳生町 代表取締役

「TSUNAGARU」活動

・奈良市と連携協定を結び、「さとやま民泊」の事務局

@奈良市柳生町

・留学生・日本在住外国人と共にコミュニティー活動

1月例会報告

北林 秀彦

日時 2023年1月14日 18:00～20:00

場所 百楽奈良店（近鉄奈良駅ビル8F）

1月は毎年 新年会もかねて近鉄奈良駅上という利便性（車に乗らなくてもよい）を考えて百楽奈良店で開催されている。

1月例会出席者 メンバー12名 メネット3名 ゲスト（入会候補）4名 計19名

今月のゲスト 奈良YMCA総主事 上地信親（うえじ のぶちか）様、ランドセルの木ノ下店長 木下 修平（きのした しゅうへい）様、奈良佐保短期大学教授 島村 知歩（しまむら ちほ）様、元・奈良YMCAリーダー 西谷 尚久（にししたに なおひさ）様

今日は四本会長が欠席されたので中井副会長の点鐘で開始、早速ビール、紹興酒と美味しい中華料理。少しお腹がみたされたところ、チャイムが鳴りオークションが始まった。高井メンの司会 内田メンの集金係 中井メンの“もういいでしょう”の鐘係 約30分で19600円の貴重な献金が集まった。今年はこのオークションの売り上げをYMCAの国際協力募金に捧げようとの発議で、全員手を上げ賛成。19600円を切の良い2万円にしようとの濱田メンの声掛けで、残りの400円をメン誰かのポケットマネーで集め、合計2万円とし総主事を通して国際協力募金に入れて頂くことになった。次に次期会長についての件で、あらかじめ決められていた選考委員によって1月10日選考委員会を開き討議の上、中井副会長が次期会長候補として選ばれた事を報告、本日の例会で謀ったところ全員異議なしとの事で次期会長は中井副会長に決定。予定の8時に中井副会長の閉会点鐘が行われたが、丁度 店から温かいお茶が振舞われ、またまたお話に戻り8時15分になって、やっと重い腰を上げてお開きになった。楽しいひと時でした。



<協議事項>

- ①次期会長他役員の選任
会長：中井、各役員検討中。
- ②2月例会（ピンクシャツデー）
日時：2月11日（土）18:00～（準備：当番17:00集合）
場所：あきしの保育園 卓話者：奥田暢子様
テーマ：TSUNAGARU（つながる・つなぐ）
・卓話後に入会式実施。
・入会式の件→1月役員会にて承認手続・入会グッズ入手済
・大野、正野阪和部長・寺岡EMC事業主査へ中井から出席依頼済、出席確定。
ビジター登録費（1000円）を徴求の上、一部食事代に充当。
- ③W4W実施の件（2/19）
ビブスの手配（YMCA/吉村様より借用、洗濯の上返却）
- ④3月例会
日時：3月4日（土）18:30～
場所：あきしの保育園 卓話者：上島博様（絵本製作者）
テーマ：未定
- ⑤4月例会
日時：4月8日（土）18:30～
場所：あきしの保育園
卓話者：谷村博久様（消化器内科医、大阪回生病院副院長）
テーマ：未定
- ⑥上期決算の件、承認。
- ⑦2月以降お弁当代TOF例会：500円、その他：1000円を徴求。
（実費との差額は一般会計に繰り入れる）

<報告事項>

- ①YMCAからの報告事項
・26日チャリティラン反省会、国際協力募金
・2月：ピンクシャツデー
- ②HP作成PT 進捗報告と今後の作業日程について。
- ③卓話者の件：5月の卓話者の依頼予定。
- ④ワイズメンズクラブ国際協会、国際選挙については、中井ワイズと相談の上、投票予定。

<イベント日程>

- ①2月4・5日：東西日本区交流会（濱田、中井）、名古屋東海から橋詰、御殿場から前原参加予定
- ②2月18日：評議会@南YMCA
- ③3月11・12日：ア）次期会長・主査研修会（下記イに伴い、中井欠席）
イ）ワイズ100周年@台湾（中井出席）

2月 Happy Birthday

18日 村上 一志
20日 四本 方子

2月行事予定

- | | | |
|-----|-----|-------------|
| 4日 | (土) | 和歌山紀の川クラブ例会 |
| 7日 | (火) | 大阪サウスクラブ例会 |
| 8日 | (水) | 大阪長野クラブ例会 |
| 11日 | (土) | 奈良クラブ例会 |
| 16日 | (木) | 和歌山クラブ例会 |
| 16日 | (木) | 大阪河内クラブ例会 |
| 23日 | (木) | 大阪泉北クラブ例会 |
| 27日 | (月) | 奈良クラブ役員会 |

